のは十二日夜半だつた、並はニュー「旬力な、敷部隊・競見の、報にわれわ

海上に爆風の怒濤

巨砲を敷に向って浴びせてゐる。一の瞬間今まで勇敢に砲を射ってゐ一立ちのぼる林のやうに物張い水柱

回行政査察を航空機工場を中心と|周継原領次郎氏を重ねて第三回行

政府は九月中に第三 して質施することとなり、内閣顧

質整票 藤原銀次郎氏發令

來襲機十六を撃墜

次に亘りB24、B25の延機敷約五の間隙を狙つて去る廿八日午後敷

左のことく破害した

藤原銀次郎

れたので同日午後三時間報局より 政査察使として契請、卅日級令さ

が産祭但に動っされた、なぼ本して第三回行政産祭を行ぶことして第三回行政産祭を行ぶこととなり、内閣前「原原県次郎氏」

同

情報局發表(世早

十数線をもつて來述、我防空職は一般、B2六機計九級を膨胀したが一つ。 附近にB5、B17、P3計約四 し新然なる空中服を演じてP38三 ニユーギニヤ各地に要撃續く

> 射をもつてうち三機を整際し たが、わが高射砲陣は猛烈なる

敵、短期戰

へ焦慮

この戦闘においてわが方も未帰還 アキャブで三機屠る

第回を企圖する敵空軍はわが醫戒

て蜀、母、秦、ノ殿、側など在京日午前十一時より『報局におい

英を邀呼せんとしてあるがこドイツは歓消要選に閉り能り

府百十二件、江西省政府五件でさ

電信東京中本ラル競・衛気暗光、以降、豊田の機・田田の場所の名称した。

背水大泉配相は卅日午後

の政策はすべて移管された論で

◆高橋省三氏(日本マグネ社長 九月一日『あかつき』で釜山

「東京電話」天羽信製局網裏は世日子前十一時より「筒報局におい

聞召され、#日シメオン新帝陛下 | 郷く町間せしめられたリヤ國王ポリス三世陛下謝御の題 | を配布の同國公団館に

つてある。即ち勞務管理の徹底 つた施策も漸次その致効を收め

理的であるかどうかといふこと

破綻を生じて了る。これでは

ゝある煎金の形態が繰して合

である。實際勞懸所命は一般的

かは別問題としても、

の狀況などから推しても、

が非現實的であることを示すめ

化が一段と頭行されればならな

の推過型化に伴の美口ではする展の推過型化に伴の美口が自由というが

漢口敵產移管

卅日全部終了

腦小鼻高腦腦 毒心 血溢統 症怖耳壓血病

進

房書歲千

詩集みいく・室生犀。星著

常在野場の念にみ輪き署者が、過去の貯焼を貯然と押しやり、例氏 会の貯焼を貯然と押しやり、例氏 の一人々・水水水へは一く即くの。 及も割等落自設(質役公)・一〇

明

丸

傷寒軍人歌集 街 大東亞戰爭 街 佐佐木信網編

一方、それ

配性の影響については今日政府・一般力増展手段としての影響生 として打つべき手は大阪打ち移

說社

賃金形態の戦時的改革

であるが、こくでは労働量金が

しかしその貸金そのものは合理 れだけ国金そのものは一冊安定 してゐる狀態にあると見てよい

のため日むを得ず映動する場合

ケ月を 以つて 收支計算する

めて研算におへることは危険で

よび作業関に働く工員の信金を 例を設け、直轄軍需助員部隊お

とらいへる。勿識日給制度を極い

度を中心として諸種の名義の意

金岩くは手密を交給して居り、

おける月給制度であるが時宜に

となった。勿論路種の條件下と

進、皇國勤勞護の確立といふ意 またこの生活を保證する意味に 人格を母軍する意味に於いて 理想的なものであり、勞務者の

一面質 本主流的な 遺物である

の難りと情意の動機を與へ易い短制度は一方に於て努務者に心

情勢と大泉距建設の質情につき群

曹見を行ひ緊迫した世界取局の現

【東京電話】天皇陛下にはブルガ

御弔電御發送

あらせられたほか廿日午後三時廿 分用問便として侍従徳大寺近阜公

思ふ存分暴れ廻ることがから解が大きければ大きからには知合がよい、

際を配指、大阪果を吹めて彼の歌意を全く歴失せしめた、駒來わが、水質散隊の出頭に遭ふ毎に完整除は送早く開闢を事とし極力監

パンガラ島神夜酸においてわが海の挺身隊は日頃猛闘線の成果を除すところなく鐙地し

を回避しつつある、その遙畅が伺よりも 継続に同夜散の象に與へた物心風節の打墜を裏書するものといふべきであらう、この夜

江十二日の夜宮に一時間歳月明下と暗器下の二回にわたり。返還な岡岡原薫園を交へたもので

身に敵火を誘導

壮絶、 我巡艦の陣頭指揮

コロンバンガラ島沖夜戦の實相

ため海上に経済が撤回ったかのや

快哉「魚雷令中」

更に新手と魚雷戦

も高れて眩暈に激散化手喝気が沙がとかくらなかつた。このときだ

航空機中心に實

は航空部隊の長路長として支那

てゐる、蘇颙甲中、河原利治中將

功二重光

を連ねてゐる。

今回陰巌なる行営の御沙汰を深し | 章授賜の光桑に浴した勇士は『功

然経典と戦ひつく幽野滅に禁れ

双著第十五回(建筑観察第十回)文雅沿極形歿著第七十回(豊田陽宗第五十回)の各議が行為の種格なあらせられ 同日古の記蔵取締ならびと試験語よりされる (後突された

武山大尉(顯)功四級

河原中將に功二級

金鵄の譽四千百五十三柱

職責に氣魄を持て

田中總監本府員を諭

す

神を示すものあり、固と

中的

ア リュー シャン 塚本慶十郎著

₿6判•二八〇頁

(強利・田西

ン へ

外立岩沿

水白

和學 評 會田軍太夫著

響論論

刊新

上人の

社

木デ

村太郎譯

概保同

小

學

館版・文

藝

書の職場と

山田孝雄著 國

の本

質

宮原將平著磁 氣 と 磁

文學の美徳起てよ印度

罗日本犬

文那の屛風。1-12 (京都を開発に発音のです。) 文那の屛風。1-12 (京都を開発に発音のです。) 文那の屛風。1-12 (京都を開始に表現された) 文那の屛風。1-12 (京都を開始に表現された) 文那の屛風。1-12 (京都を開始に表現された) (京都・日本) (京都・日本 文 日

旭六歸本田 八東、 「東、」

勇士が強く級のうちに慰さ付い

捌けて灰たが、戦闘を終へた今も は各盤いづれも無傷でこの通り背のが部隊は巡洋艦が太破したほか

してあるのである

ある

特部全和大便として球勢大臣テイ 世命式撃行 ン 計日 同盟」ビルマ政府はざきに派代昨日

新京神社參拜 著 祥 靈 村 田

色原藤

自分にてんな强い力があらる 者驚嘆の書/《金羅一條實孝图下 短字》 一方とは知らなかったと全讀 所 を助けりは知らなかったと全讀 所 一方とは知らなかったと全讀 所 一方とは知らなかったと全讀 所 一方とは知らなかったと全讀 所 一方とは知らなかったと全讀 所 一方とは知らながである。 一方と表表表の一位 一方とは「本語ないた理解と、本文の一位 一方となる。 一方とは「本語ないた理解と、本文の一位 一方となる。 一方になった。 一

京東 替振

例1・1○ 〒一五 (単・敷衛への憧憬を語る)

てよ印度関ロ・大文郎塔(日西県の民の東帝を下れ) 線詩集佐藤春夫著(燕郷外のうか出記ととも)

區田神都京東 五ノ二橋ッ一

馬琴北齊芭蕉 字野浩二著(水龍家の豚になる鷹角豚

質約一・八〇

石 縣 …

本書は技術者としての建省・本書は技術者としての建省・水學、主として自然が関系を開てたける。の関略を申集的の表現が関系を開てたける現が関系を提供する。

5

特殊鑛増産を現地に視る

(3)

ふから成る程、日中は十六名であ

る、現戦主が引受けたのは六月下

鑛主は三時に起床

螢石生產陣、将に懸命

土、催池の土等級助員するが、 解療地、宅地の周閣、関係、どふ 八、廿八日の三回を一窓管駅に雷 は七、八の一一万月間毎月八、十 ることにして牛豚舎の堆積状態、 り三百一国)であるが、殿務課 | 選目標は十一版||一千世成国(反 影師し人喜は人養として草木肥は|| 軍事選り本年度堆肥 の他所標事家として下肥の利用を の信動に貼ってゐる、質施方法。道與愈が主際となって堆肥增重に 製品で各部を換賞、 乾草及び唯一 ことになってある、 京た各部では 競争心を起させるべく和人関策を

忠北は七割確保 一技師級を係長に掘力なる哲師陣容

現在英語並に堆肥の増産産績は夫 を固めて指導搭駁に強り、廿七日 躍けてゐる、就中婦人班員、愚夜の 五千萬四월成目指し撤尾の敗闘を

咸北は今一歩

供に属し必要なる。

に軍人緒神の精道なり。こ

保の兵站として乾草地肥への始産

戸三翼乃至五質に上る報殿乾草で 最と共に金浦、江南、宮川のE 遊草目標最大千百十五萬一千四は 難けて増蔵へ指車をかけてあるが ゐる、京観道が誤るべきは各 朝運及び鮮内土港選作業會社の合

反當三百貫攻略を期する堆間 朝有事に應へるべく各盟家に保 れてあることであらう、一方 構造及び朝覚の関係官民立會の下

左の通り 浦、元函、城部、馬山、海州、一、朝運は十月一日駒駅を翻返し一、朝運は十月一日駒駅を翻返し

し合一歩といふところにあるため 鮮內港灣作業會社合併 朝運は朝鮮海陸運軫會社と改稱

つてゐた港巡作業を統合し決威下 契約書の開印をもつて正式に決定 配代表によって行はれた合併

間の外に一千三百五十萬四を願巡郭現在の資本金二千五百

月下旬から十月下旬の四ケ月 間の二百八十世を辺期境底目標と であるが乾草は風、内地八百寅

柄 大引 高値 (第1部)

て武身服行の置を駆ぐるか 草を虹域射行してあるこ 「氣をいやが上に閉搦させる▲そ 。死生団苦の間に成し、 静度層の極致を酸価すべ 広が、そのま\ 「駆堕!!!

蛔虫 はの健康 安成下の認力増殖に迫内全部図迹 に至り、九月十六日の凱蘭最終日野林を深勤員し、郡民大會を叩き 軽威隊の出動で暮々成果を駆ける 八月中的四条地に至り、やどは前で近く古川知さ自ら母外を除者助に 肥増産災助は各際盟及び奥校前勢 出動し三男でを推消する 動は反當り完熟地肥三百百確保を 緻を決定、計戦増蔵に働きかけ、 増重期間に 定め實行に 第つては 自指し这条地肥二百五十日、冬季 【忠清南道】忠南道の地凹地西道 から十月までの四ケ月間を地肥 堆肥共進會 忠南の追蹤急

道路局は指導性動隊を六班に分ち一般力を注ぐことゝなった い氣魄示す 京畿道も五割を突破 入ると共に、これの徹底頭化に一頭指揮から闘つた知事は第三期に 巨概への接近を聞ってゐる、草刈 運動に不徹底の傷みがあるため陣 部が足を運び指導船跡に努め極力不良の地方へは億原州亳以下湾廊

局でも知事、都長、始め各種長も

「屋尚南道」食精地高確保の喫緊

既此の増産 意氣込む座南道

なしてゐるが、均蔵目標は乾草の

強六、九七八萬質とし、

好成績を收めたるも第二期を

八月一日から同十五日

必ず一定の草刈に従事せしめ、

各国内部落に繰出すと共に男女青 各殿山村の部落縣盟を實行軍位の

草増蔵、堆肥造成運動推進のため反常三百贯以上を目指す平北の応

【年安北道】乾草八千萬黄、堆肥

員、風梭生徒見遠を感動員し

図民食機の増産を確保するため各

全北も六割

製してゐる

知事も陣頭へ

に親つて七月廿六日を刺して歴開(一版に集中した蔵光道若草及び地に親つて七月廿六日を刺して歴開(一版に集中した蔵光道若草及び地の歌力を図り、七月末から道の総力をこの

迄に目標突破は決定的となつた併

優秀な地、町、部落、個人に対

毫 (積く)

一月・日家で所定の手綱をなし、神権など十権巡復社を合併、十

明会な芸会 さんた 東京 さらん 大人 大人 大人

を け、日と共に國民の

を没するの疑悟なかるべら

相接げ、自ら進んで苦難に

力湖心相携へて目的環







本 社 総力総盟が中心となり七月以來九月迄。将墳で成は今や趾である、総営所及び 目標世億貫を突破 向つて最密を期しその姿をるや形ぐま は力を振けて白熱的哲 動に皆つて ある 異の目標も今一島といふところに選し 三ケ月にわたつて続けてゐる乾草及び しきものさへある、幸ひに豊青繁茂の 肥増産運動は腐々第三期に突入せん 他方四民も乾草及び堆肥頃雨のた ようて本府及び各道館に関係機関 困態と戦のフィ各員の目標に 半島の肥料増産戦今や酣 る。何づれにせよ、茲十日といふもの 遊成期間としてゐるから、もう一種暗 ける筈であり、また地肥は九月一杯を 段密語き、残る九月中旬の秋の農繁期 道とも眩草の特殊方面に関する供出一 頭信網からの報告を掲げやう 原原 差 況 現 か 聽

日迄の一週間實施、目標敷質必成 職出で衝敗に強つてゐる、既に第一 場して道電局脏に悪力聯盟幹部 歌を駆けてある

億一千萬百 (反當三百萬) 增売確

地域を

地域を

の一大線力

運動を

展開そ

夏に七割冬三割 平南は附帯事業も獎勵

の分で行けは適助米の堆肥職保は一成に向うて寒滅するとになった。一般保団は大調除も進んであて、こ一般適固を宜庵、一乗に計量投票等 草木肥として別々に採取せしめる 果、既に計発増産の六物を突破 て九月六日から十一日迩第三次増 に戦ふ全北の底力を消骸なく競揮 日迄第二次増産週間を質施し

を展開、週間監制から知事を概指から乾旱地肥の一大埼華展開運動 【忠禹北道】忠北道では七月下旬

に山林跳とも連絡をとつて、下草

大目職を目指して今級以來生産に「耐塩調過商を放施して趣家と極力・個は八月二日から「週間、第二次燃売増配目棋甘働薬職、反當年均、草の最感である八月に入つては増「と答うてゐるが第一次治調環調選「層台兆登」 駅北返今年度の史取「努力してゐるが、これが原料出財「뀂散と表選二儆とたうて垍葡頭動

先づ慶北に凱歌學る

撃墜された敵米機一(おは霧口地層) 抑官に内務、産業、整製各部長を

に三割を確保する計様である。そ 全目標の七割を採取、なぼ多季間 になってある、斯様にして夏季に

生徒児童の活動は自帰しく到る處

れば原理だちの山と縣人、整意が、地肥一萬七千六百萬度の増融を目にこればわれら縣人だちの山、あ、【咸鏡北道】乾草四千四百萬度、

金融機關の

總動員

國民貯蓄の増強に依り必

信託兼營已就で 水田財務局長談 定、ようて財務局は左の姫き水田 局基版を確要した【90第一水田財 新局長」 令の施行規則を實施することに決

カ月一日付をもつて右に関する職・むるこの必要なるは中ナ迄もない する途を拓くごとになつたが腐々。 金の吸收に其の金能力を發揮せし 、 一般特に大衆的判金及長期貯蓄的別

銀行網絡及び信託網絡の無偿に開

の銀行の大衆貯蓄吸収を興化する

興を贈るといふ選獎方法を執つて により、二、三等を定め特別質 るる、けれどもこの出動時刻の間 大田衛石選繳場は撒石賣買配給關 念であった。 鑛振大田選鑛場

として下土官、兵を派遣、磨仕的

傷に切人の 本分を 完すす

勝し、総爲相敷ひ、非訟相に

られた讃儀ともいひ得る人

でのまく山崎部隊員士のた

最大限度

映動中の工員に対してはわざり に 里耳肌線を 質施したほか 引縮き

八月に 建設着手、

を過ぎた氏は『目下自轉車の飛古 陣頭指揮 あつてこそ、從 能力に對し實験はや人気るかののあることで、そのためか公和處理 蝦場と

翼るの

は

平地

に

建設

され

で に至ったものである。「

て作業訓練として一ケ月のうちとの響ひを正唱する、また時

有力な厳略となつてゐることは事 及び製品容器の通道が増蔵を阻む させてゐる、たい生産資材として

> 戦闘の難と敬つた。だが 千有餘の勝兵は上下心を

て固く肝に銘すべき次が必

同時に、関にそれ以上の節空機の一進は銀石の需要を動期的に増大し

その都度下車して先づ道路修繕 水害のため敷ケ所ほど切動され、水害のため敷ケ所ほど切動され、水害のため敷ケ所ほど切動され、水害のため敷ケ所はど切動され、水害のため敷ケ所はど切動され、

観が經費不可能である、しかも

つゝあり、而も内地に於ける賦存

地口現場に赴く、恰皮強硬のあつ

されて、それより思に約一キロの 折よく居合せた顕主番匠氏に案内

なる「実際気質の落」が揚げて

レくアルミニュー

アルミニューム駆合金であり、

眠つてゐた年度低石織床の積極的 狀態極めて受しいため従来時間

開發推進こそは絶大な期待を掛け

られて営然であらう

德津螢石鑛山

規模競山の一たる忠南大懐郎安配者は一日、辞側の地にある小

と既令をかけた、順主は

『氣ヲツケ、歳ツ』

ると、いきなり

六名、中の一人が顔主の姿を認め

鎌員全部 が加口で待機し

一の一共にアンベラに腰をおろした、瞬一の影響が始められてゐた思度であ

かに本格的採掘のための奨励抗盪

ンチン機成林料の五十%近くが

と湖南線の分岐點をる交通の裏面

と引上げるといふ計量も張ち質別三倍に、十月には更にそれを一数 出価量を増産期間中の丸月にはお

で出來形も既に三語に選してゐた 出、紫州と何れも優石の主意地を

山、思州、深州、金景、麓城、青

ねばならぬ、後兵制の實施と共に

なほ騒後に特別訓練として 一石二扇を拥してゐるのであるて實践による鰈成と能率増進の

兵分院では八月初頃、一週間に関数背は特に重要であるが、大田瀬 これら工場に働く半島青年の存民 大田憲兵の別の指導協力

安産のために ワタカルシュー

大阪の大阪は、大大阪

漫

夜間、投資、相談部・大震路化、 秋日 6 米 3旧。

南から北へ残原と吹き渡る

◆・・・・教育学品の野に丘に

人前に働けるやうになりまし

を、概を、野災を作り、

肥料の力でたんとお米を、豆 質と作つて、金融にも増した

約半数は留置され機能は嚴重認識

遊休者一緒の本

の倒草がどういふ風にして製造さ

乘馬檢查 冒出來是

なく深聴し地下登録の習風明敏 るためでありこの秘密の私のあ

ならな

城市内一千百名の原軍小曹人中一

「外所質陽距内の銀帳級盃を行ふ 早和人時から中島校々庭に於て

一名が、來る九月一日から日曜、

長い耐燃管を置つてはあたが、

煙草小資人の泰仕

が併びたら地肥を何百は何千

健康であり、機関である、草

年生まれた仔馬も、立張に半

豐穰

、驀進

の秋

ねばならない、夜の京城に漫然と 集するパネオンの虫々に微値を

るうと本田場では正岡署長を取 外動各部署員数十名の非常名

い思が流れる、急に秋を思は

◇…… 南い大学の底を爽白

自要よ、何處へ流れてゆくの・秋が辿つて來た、何よりも第

盛り場を一

一齊電擊

本町署の不良者狩り

歌等男子五十餘名が一層模束合れ の一緒女子後り編書職行される歌夜公園の間に裏助する不埓な能 ゐるがこれ等者に横行する歌休者

鬼氣迫り最低は卒然物の前に続者

ジオ放送により訓示することに

ない。

公

すあげアツツ守崎の寒暗を励った

は入坑船の金属山阪士と

\$P\$ | 一、營業場所

100

を攻略して『際長機を施職

演み入る、質丈に借して伸び

徐りが戦力増弱の大きい一家 を持つていよく
売度の秋に

た・・坊やも歩けるやうにな

りましたくりお祖父さんは老

いやが上にも盛り上げなくて

の圧力を作つて決敵の敵氣を

た高い霧の穂に、又その株も

年は草油で苦願しましたが、

りに悪趣してゐる、それじく

明治町、本町一帯から新町、 を行うて廿八、九柄日管内盛り

が配外におい、南山町来県各店に女子大黒生二名も加はる崎郷島生

いてますく鬼様でする。去

今年は好職なのです。等々の

の職域に充實しを生活を確立

こに個作した大豆の枝々に繋

睛の徴兵制に萬全

島攻略版に磐加機戦を極めたアマ「圏の分隊長として興撃艦隊、同部から引きおろすべくシンガポール」作戦艦隊はタベル上陸の年田口兵

【小倉電話】英國旗を別部の天地

身に餘る光榮

詠んだ鮮世ー長女小

間の身をもつて特火版に突入政治

全鮮に徴募區を設定

表發省軍陸

居 潭府

級に強ひ起たんとする半島の曜日

資料土官學校採用減査はまつ身間

陸軍像士檢查に

旅館の協力要望

傚査を九月一日から十一日まで京

大邱の三地で興科試験を近施する て廿日から廿二日まで原城、平塚 日まで平場陸軍病院で執行、

はこれ等の受験者に對して厳じて 方から集合した者で旅館、下宿等 ら行はれるので受験者の大部が地

は特に威戦、下復総然者に対して数に進制ない部力を勝すやう取で 聞し、中総を捌行するやう手腕を

アッ

ツの玉碎

彦心の作 かんしゅう

既の御稿として、姚昭をかけて蔵「成陞軍城院で、同十六日から十八一が、試験は何れも毎日午前八時か」建新しないやら朝御飯を早めに巡「要館してゐる

敷機を撃滅

飛行機が好き

競製されて一般國民の恐銘一段と

心陰階の末端く描き上げたもので

信品幹部練成密▲三面一個京城府

「東京電話」アツツ島に玉座した | 称してある、五月ホアツツ島守崎

際玉座の競表をラジオで聞いてい の際属スケッチなどを参考とし苦

軍神加藤に從ひ獅子奮迅

曰

く輝に甲勲殊 尉大山武の島半

> なり週ばれて、その傾機とな 師加藤少將の脳めるところと

り、然るに昭和十七年一月十 樂してよく 部院長を 聯佐せ しめ、或は貴重なる。信報を真し以てその指揮を発見なら

ランダ兵一個分隊の包川攻略 りて傷を雅ふ、然るに廿日オ民に收谷せられ土民の家に入

と流域と語いてはこうわが

一百三十圆八十三

幸

贈出は増産殖機巡動に月卅日まで全鮮の各種

間今沙人蜂吐加管二世子(何等)支給モ壮之原族開起素調度疾用分沙人蜂吐加管二世子(何等)支給モ壮之原族開起素調度疾

取機ゴム靴用品製造株式會社等を登場をする (1) を

日から十

大容を飛ぶよりとよくい

二十日まで上野空間はで開め

歌する力作が冷しくもニーナル日 際田常設価のアツツ玉隆

丰

、現伯は三十日陸軍名を訪れ

時稽せる္際階長とともに土

機がとても好きでした。い機がとても好きでした。い

特以明似さん(そうは他遊と謎

幼少語る母堂

るペナン

年爲出身者 断く感動形像をして

門において受検する、敵等

空に生き空に死す

地下の主人もさぞ感泣

談人亡未將中原河

やをとつてるたが汗も拭はず蛙に

東京智能)第十五四大県昭志等形別等(野中郷が第十回)第七十回文明等総元別省(回第五十回)の神く総切行歌が破裂された。今回版記を

かマライ取録で配来した戦治正的報行士、鹿く単配園综の一人半心出身の質山峰大崎らも加はフてをり、石榴の場合に治し歩えめる都や法を採した名誉後の戯説もまた一し世終りものがある

(性として立たせたいと思っ) 駅の身をもうて時火逝で慰入敷育の間殿の御役に立つ立派な日 ゲン北方五五流地の敵軍に欧藩東

の中を進躍したのであつた。

ころ突加頭強を極めた政特火駐のコム林が彼我の飛躍によって権ぐ カの猛威が更におとろへを見せ 十七年二月九日朝五五高地の 負けぬ氣の强 ためであらう、かくて前夜迄頑張 官を失った破陣が崩れたのもその

昭和十七年四月〇日は加藤知神と「作により自爆、煎翻機除の『切腹 故大尉は中部を終へるや年來の宿

月半で敵機併機を血祭りにあげる 【名古屋電話】神殿加藤作隊長の 故大尉が敬奉した日、 高度のメートルをもつて対地攻限 場の攻隆に隼機を操つて頭踊出助 油槽に敵災を受けいまはこれまで

と加藤町神日頃の数をそのまくa 五月少跡に任富。大泉盟最物受する水めがけて緑原で解かな万種識。るや腹郷出動したもので、光祭の

烈な観死を送げたのはその値削

加藤大尉嚴父の感激

し途 に避國の輩と 散つた河原利 酸に陸蜒部隊長として飛慣に活動 【〇〇関語】大東配成の航空戦後

助

から

米の人絹洛下傘の悲劇 ぬ師の

本からの本制輸入が批絶した

肝腎の落下症は多くは腸かず 既にを演じその原多数の飛行

にめ米空軍にとうては全くの

酸の点気であつといふ間に燃

ふことが判明したものでこれ

本社客託献

國防献

金

新 題 版 知 版 知 版 知 版 知

優し

が、河原縣隊長は就任以來部下一せしめる航空機乗員施成所本科生

勝隊将兵を感激させた話である

してあるが、今回の鍛える政党を整体和名なもので数々の遊話を勝 時職隊長としての故中解の部下

ればどんな高四な飛行機より

も先づ命が第一と米空電飛行

近き回に繋の場面が溢出して

◇すなはち在支米空軍は廿 田、井四日の1回とお

人も切からないといる身から

際に当詰められ捌句の果一機

公方人次郎さん(ペシは一人扇子の 経に機を着む開駅間言さん(大心ト

ウさん(そのは感激変々離る

る【第寅=加滕大尉】 の子竇家庭として昭和十四年秋

等級校本派と同等の資格を映へら

る外二等航空機構総士、二等航

隔離病室

X 州 料 科 般 段

内外和影

密に對する一層の連聯を切録して

五万年、攝際生一ケ年で一切官数の辿りであるが。繁年限は本科生

ととなった、その殊楽型がは左

和級七

化學商品新聞記書中灣語

「新聞記書中灣語

「新聞記書中

や四南太平洋における日米の死回 は日を追ふて低烈化しつ、ゝあり応 【宝原電話】航空決版の勝利者た

幾億省航空間では民間航空獲員の

三日の司法保護記念日を一般に撤一クの場内放送で徹底せしめ込の人

い部下思ひ 河原中將を偲ぶ數々の逸話

確保に鋭紋努力を排ひつゝあるが

られ、また整備専修治には整備士

の資格が成へられる、また操縦生

は二等航空機構能士、二等航空士 | ◆製炭製鋼(一)棚乗口倍年間、ので数を切べられる。また資産士のの

【釜山】郷力殿里では來る九月十一腳重幕、形内常改宗整節にてマメ 陰の人々に温い 司法保護記念日の行事決る 手

設督

本質

化粧品材

忌明寄附 京城縣 異

要がに限へることにはつた

いた市野の京田の

た。野田知知の一

京城 人科

十點ヲ出陳ス
○日滿華代 次書道家作品百五
○日滿華代 次書道家作品百五

『大東亞書道展覽會

無料出冊大日本書道報國會無料出冊大政與贊會與亞總本部

國防献金

上思阅

林疾にコノ

社名變更公告

社名ヲ變更致候間此段公告致候當社事昭和十八年八月十七日ョリ左ノ如ク

新社名 西野産業際 京城支店舊社名 讔 西野商店京城支店

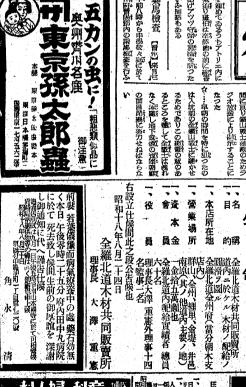
山口樂器店 手突が順気が開発 入院應牌

和 材料 染料 東華洋行 東華洋行

臀森川益夫

候間生前の御厚誼を 深謝二十五分 府内田中丸病院病氣寮叢中の處 樂石効無 角水





























































































本の大人を表示。 「一般などのでは、一般ないのでは、一

德永小兒科 医学博士 中橋幸馬西川時間四一 電光③1960

宗城加町二(三越景側 L.A.) 「東京 小田六下 東京

みごと甲種合格

窓で御奉公への完璧を願つてゐる して先に金融組合理事會等を開き 三鷹二千萬四の磯増養貯必成を期

若人に明日の英氣を 選ふ『よき』

に

皆つたと

ころ、

定員

を超過する

田保安主任以下全保員が確地調査

海兵に馳せる汗の戦士

皆して整進を続けてゐるとき、水 C 中島の若人が『我和こる誰にも貴」に

なである──職所從樂島(南田豪雄) に合樹、その関和の入所を待ち然

Cio)松岡建設でもの限君は晴れの

を新たにする爲九月一日午

献金の花束

ける遊園チブス既害敷は二百九十

成組、浴場(五)內山遊戲的 成組、浴場(四) 以場、飲食店、理念

發疹チフスの根絶に萬全

め

名の多数にのぼってゐる、

的疫の根本方策(一)風の原

長

袖献

納

7

筒型

合際、京成府社會楽提供の楽畵を給川番男氏の陸濱、家信楽歌隊の

上歌し

席上原統献金も計畫され

をラジオ

戦へ挑む日婦の固き誓ひ

たところ野員選の赤っ族つて激烈

筒型で行け

学園婦人の決意は園い、鵬っ年に 廻いて歩く 時代では

長いテマをひらりくと抗

総朝鮮服の『子

とになりました

日帰の新設足です【鎌倉は をこくに結果する、力強い

米英略らてし止まむの織力

の山き子の進志を守つて忠成氏

タンに

一の

れも

成れ

して

目を震躍して同四時閉節した 【如第一日屍交部打合會】



この金必ずお國へ捧げて 死出の旅に遺す童心の赤誠譜

要者を二へもなく動り一方配給の

惡徳業者に断 足に付込んで呼内の一部と思想

概子の質が、ああして皇子博士

素がついて、簡単の方へ戻っ

松 次郎(種) 一一(作)

野

の夕』を催し変元仁範氏の強喘、「て他黙した軍國少年の減ぐましい「質問町第一曹無総で『鸛説と映画」して下さい』と最後の決意を避し 死の床に刺激を呼び寄せ「これは のです、國防概念するととを約束 **區玉川町四八福田忠徽氏の次男** 京城縣忠國民學後四年生西大門

施を威嚇し唯一日午後七時半から

徴兵感謝大會 繁熊監基督教信徒の 日本語

國債消化に新たな手

道が準備金の積立制を實施

防火訓練に心の準備はよいかと思 息の一旦一郎十一時五十八分 震災大法要 や深き関東大震火災第廿一 あす博文寺で、

及び罹災者の縁故者が多

經濟に対する部



維海醫院 成為 28 海 元則 部分品却

(家たか。どうしておれば、昨日

間の

東邦衛機製作所 東邦衛機製作所 電路本原の大阪ハカチ

若も 男も女も 爆

踏みしめて、老も

バスに刎ねらる

表と歩くのだ。

て富昭へ、工場へ へ出動すると

かな初秋の満気の 歩い、歩い一変や

医学博士 白川 東京 京城元町-丁自-O八 (元・平岡医院 翰) 春秋崎山舎 || 5|

要よ何遠へ行く要よ何遠へ行く

サカリ演 オカリ演

H

李

鍾

常に戦場に在り アサヒ家庭 フサヒ家庭 アサヒ家庭 アサヒ家庭 アサヒ家庭 館畵映信和

職好料一般氣 正門

性病科

花

座

医学博士交仁柱

敦岩町三仙橋電停隣 電乗⑤ 1657・2853 ×光線・入院隔倉

治

戦場に在り 明

場劇於日京

印刷

若

高級職工

日 ジリスト 臺唉 ^=゚ヮ; テュョō

京城洋裁學

裁生徒募集

か家ので量で 籫

の風 劇

引越荷造

京

群 本

製造……金 墨 場劇陸大

○淑英娘子傳。○本城東朝白○本城東朝白○本城東朝白○本城東朝白○本城東朝白○本城東朝白○本城東朝白○本城東朝白○本城東朝白○本城東朝白○本城東南</l 場劇洋東

計理事務

新門光三郎 中原東部社科学作 座富 新

戦國民防空工本ニュースニュース 館 花

震 高野義 財製 作所







































敵見張所その他の施設を撤去して同地を確保し目下作戰は順調に進捗してゐる

アツッ島勇士を讃べ贈られた詩(華麗神殿)

がつくられてゐるが他科學展別のための祖々の機関

強闘場、管楽會などは一切遠原中に服し、営初の一週間はとくに映

◇ 会大羽氏 (全北知事) 新任挨拶

へ利用されてゐると

物力のもとに廿八旦三智漢(『華書書)に敵の機先を制して土陸して敵米不逞の企岡を粉砕し 潜落戦を政ニ無神自己思 教光解整省三都漢を潜水艦基地として使用せんとする形骸がある宮畑つた際関連国際政策は水上修經

三都澳に我陸戰隊上陸

米の潜艦基地粉碎

|濱に同じく他の一隊はマウントステベンス南方の美波油機海岸の上陸にそれた||成功、中である、すだは200円前 わが陸戦隊の一隊は三都澳稅關角の突堤に他の一隊は 稅關西方

主要食糧について

臣を迎へることはその意聴既る大

石黑忠篤氏が御進講

なきまでにこれを観察してあるが、表る廿日より廿人日までの綜合機果は次の頭がである。重要に新し続に機先を削し敵を徹底的に撃摧するところにわが方の間壁を観づて不悪に乱

蠢動の敵機卅二屠る

進攻作戦一、攻撃目標の影響工場場、一

施設および場所ならびに船舶、三斗坪附近船舶、桂林、衛

七機(うち不確既三線)地上火器による職隊を四〇、四機(うち不確既三線)地上火器による職隊を四〇、四機(うち不

重臣側より

官邸に招待し、東係前相以下各関

わが方も未購選||機を出した

機力機はブーゲンビル島ブイン飛行場に釆職、わが設励機隊は直ちにこれを影響しボート・シコルスキーリに暗場上懸を聴露した

事施設および集頭爆解炎上、船舶既沈一千トン級一隻、軽暖四、五

全然問題にならぬ敗退ぶりを示してゐる、 が今後なほも動物にわが本土空間を企園すればその都度わが、 か今後なほも動物にわが本土空間を企園すればその都度わが

孤島無接旅家軍破敢直

獨機防衛に奮戦

反樞軸、伊本土盲爆依然繼續

英軍需工業に

年のイタリヤ本土盲爆魔は依然安しリスポン廿九日同盟」反揺・・

、これに對する戦果・重要に基地際爆散炎と、萬國軍

青木大東亞相、初の訪滿

相 和自三年中央本部長等の機理をうけ新聞記書観と會見、別頭の頭、大巴線を愛妻、喧ちと福舎ヤマトホ 東 王忠三龍陽度協議長、陽東町代表等日本側題官、湖洲國展縣理、武部成為長官、各部大臣、参範、郷東 東京日本県東京 大・前十一時世分新成と到意した。大東距相として最初の湖洲國人りをなした青木一男氏は花軸大庭院妻

処報處簽書】 艦に中華医院別間中の零木大原電大臣は我園訪問のため本三十日十一時三十分新景に訓察せり、傾同大臣は瀋瀬中大康

青木大東西大臣は南洲國及関軍州に於ける大東部省頭地機關の融線、現地陸軍軍首閥部よの運給を行ると共に瀾洲國政

彼我の損害四對

外しの上海で変になりましたる由「電車他に配分し殴力増配に宜する」【東京電路】樹丁曜日内諸副型品をの他の金融製品車取「おいて受験致しましたる上、陸海 商議職 と共に御日常に於かせられても御一にて、常蘭の爆唯人恐怖感激の密

部みて駆脱申上げる次第

英國内容組織約の確保体域時下に一なってあるが 英國内容組織約の確保体域時下に一なってあるが

牛島第二次増産緊急對策成る

常旨に副ひ奉らんこなど期する次

が 一次検を行び 又現地階機能の 状況を

同會出席のため総督府から帰田は一ものと見られ、成行は注目される

健民强兵へく

444

京城府中區遂萊町三之四一

拿

B

組

【ベルリン廿九日同盟】デンマー

獨、反樞軸の謀略完封

南米市場から一部特殊のものを

は競爭相手にならないため將來 効業諸筋では英國は到底米国と も帯次増しつくあり、英國の貿

出張所

高平•清津•水原

支—店—所在地 仁川•釜山•鎮南浦

野歌を翻つて米英兩國の衝逐は次 | 作に努力を傾けてをり、米國【リスポン廿九日同盟】 開米市場 | れる、米國は兩三年間南米擦 市場喪失に焦慮

除いては英國品は閉め出されるだらうと思領に改見を拠らして チアノ伯失踪

であるエスダ夫人と三人の子供と アノ伯はムツソリーニ統領の令爆 共に巧に監視網を抜け出し、何處 けてゐると、厭へられる。 元外相チ 【ベルリン廿九日同盟】検束をう 監視網を脱す

にか立ち去つたと傾へられる、チ

以来威重な監視をしてゐた、但し 届にあり 八名の 刑官が 七月廿六日

せ待つてゐた様士だが間もなく時と私邸を立ち出で町の外れで立た び外出、子供達と一緒に何處へか し被歩してゐた、伯の消息は八 三、應募資 四、待 格地先 製造發 以市陽光堂製藥會社 □製 1100 10質 1100 10質

月廿七日の朝早く信が私邸の窓に

訓練教師募集養成所教員

朝鮮地帯金融株式自吐蕃的部一場。ペンテスの自選場南がは山川 中央の自選場南がは山川 型の野の美への自りの機デル者 到機がは、丘部海及 工館手段・ルセドニ像四ス で加まった。

八日午前八時四十五分夫人は子供 うて外を眺めてゐたといふのを

後に絶えてしまつてゐる、翌日

本人及淡映三對ショ出後支給

ない、同日十時頃チアノ伯も私以

七六 五 銓族 佳

衡費 宅

つが、『コリエレ・ナラ・セラ』

は出口が、うしかないのにどう

立ち去つたきり、爾後消息が則ら

政府アリ

壤職業 紹 介

₩

卷四全界公系自 師元本山を畵映本でん謹 ……〈捧に靈英の に共と民國娘一 足の即元本山 日幇 文 ■ 電大器の代古本日、管四全開公系紅 作名で仰を姿の久際がわ

が、これらは何れも軍傷工業方面 野獣岩が浮かび上つたとみられる 整備により各産業の合同乃至別領 が行はれこれによって約

廿五萬0 と観聴して逃げ出したのだらうと ドン灰電=英國においては企業にストツクホルム廿九日同盟』ロ 出出來

定か全く

不思聴

だが、

巧 廿五萬を再編入

へ菌を滅す

肋 肺膜 患 日二班 血を變 新學理に立つ病源療法

患者の血液には光輪も邊際科を見られ、光輪と複色の邊体根が見られるが精験が発生のとないのとないにはキラキラと光り輝く

の飲び買ぶ

話過恶

戦友に送られ勇闘の役(〇〇方面陸電活躍。=電台を開送=

超對無害

一般
の
は
に
ア
ミン

京城に深い関係を持つ前中衛民國

ゐる

敵機盲爆に住民の憤激

の特性がよく現はれてゐる。

十五:世紀前後のビルマ

億攻略でる全し

お醫者、辯護士・貯組を結成

局等官の錬成始まる

一鍛ふ陣頭魂



貯蓄単は鑑制を益々線に関へる 心臟⇒手術可能

【東京電話】北湖政地駅側の兵隊 | 日現地に出続する豫定である

統制整備 「日は一本 社を訪れた 花漢生氏

牛島醫學陣に凱歌擧る

後といふ珍しい病類に難り二年前





利頼をもつて刈り行く巡域域の

成「後三國語」原稿未覧につ

高)J7=@#

乙女水へ進軍第一高女校で 作者の言葉村松梢風 倭

出烈、 戦闘教練

が背とは

るて、か引 あか拘かもら、買いあを るららと結の

野神電話番號ラ來ル九月一 常神電話番號ラ來ル九月一 **漫大**東方医院

アーリー 中一頭(畫

一六一五局本表代記憶。三川全黄城京,夏5月取代一取到

高周波重工業面目一新の が道は一次

けぶの市況 小聢り 賣物乏しく

店商助之友井口

ね雑待も 濟公續連夜畫日 一圓五〇銭 出演・作意友川白 G 頭頭ほぽんた 千寶城 爾家族家情純

治

朝鮮回收資源統制株式會社電話光化門(3)代表四二四二番

一變更 リ左記ノ 通變更可致候間此

鮮迎送株式會

運 洙 式 會 社